

一般会計予算 164億1000万円

(前年度 163億6000万円)

平成20年度鶴ヶ島市一般会計予算及び特別会計予算6議案は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも『可決すべきもの』で、最終日の本会議において採決の結果、可決されました。

- ふるさとづくり
- 安全に暮らせるまちをつくる
- 都市基盤の整った快適で潤いのあるまちをつくる
- のびやかな子どもを育むまちをつくる

理科支援員配置事業

Q 内容について。

A **学校教育課長** 市内全小学校に理科の得意な人材を授業の補助として配置するもので、県から全額補助される委託事業である。

20年度は、1校あたり15日、1日あたり3時間の配置を予定している。

道路特定財源

Q 暫定税率が廃止となった場合の影響は。

A **財政課長** 影響額は、約1億6000万円です。この財源が見込めない場合には、連動している事業を行わないか、代替の財源を措置する必要がある。

住基台帳電算処理システム改修

Q 交付金の内容は。

A **総務人権推進課長** 21年度に始まる裁判員制度に伴う住民基本台帳電算処理システムの仕様変更費用で、かかる金額の全額が国から交付されるものである。

安全・安心な学校づくりに交付金

Q 内容について。

A **学校教育課長** 長久保小学校の耐震化工事に伴う国の交付金で、1314万5000円の事業費のうち、460万円が交付されるものである。

学校給食費

Q 原材料費の高騰に伴う影響は。

A **学校給食センター所長** 19年度は、給食でよく使う玉ねぎ、人参等の野菜類が前年に比べて低価格で購入できたために対応できた。

このため、20年度についても給食費の値上げは行わない予定であるが、今後さまざまな食料費の高騰が続くようであれば、検討していかなければならないと考えている。

有料広告掲載料金

Q 広告の掲載希望が少ないところの対応は。

A **財政課長** 掲載希望が少ない場所は、海洋センター、富士見公民館、大橋公民館で、所管職員協力により募集活動も行っている。

空いている場所については、必要に応じて行政情報を掲載する。

国土基本図修正事業

Q 内容について。

A **都市計画課長** 都市計画の基本資料となる国土基本図の原図の修正、更新を行うものである。

地震ハザードマップ作成事業

Q 内容について。

A **安心安全推進課長** 大きな地震が発生した場合に、市内の地盤の揺れ具合や建物の倒壊の危険度に関する情報を、色分けした地図として作成し、あわせて避難場所等災害時に必要な情報を載せていくもので、全戸配布する予定である。



新潟県中越沖地震

市民農園開設費補助金

Q 内容について。

A **産業振興課長** 遊休農地対策と市民のレクリエーションを目的とした新規事業で、1000平方メートル以上の市民農園を開設した場合の費用に対して、1平方メートルあたり50円を限度として助成するものである。



市民農園

広域救急医療体制整備費負担金

Q 内容について。

A **保健センター所長** 埼玉県第2次救急医療体制に基づき、入院治療を必要とする重症患者を、休日、夜間を含めた全日24時間受け入れ可能とする救急医療体制であり、坂戸飯能地区の広域で整備するための負担金である。

内容は、患者の受け入れに必要な医師や看護師等医療従事者の配置にかかる経費を、鶴ヶ島市、坂戸市、毛呂山町、越生町、鳩山町、飯能市、日高市の7市町で人口割均等割にて負担するものである。